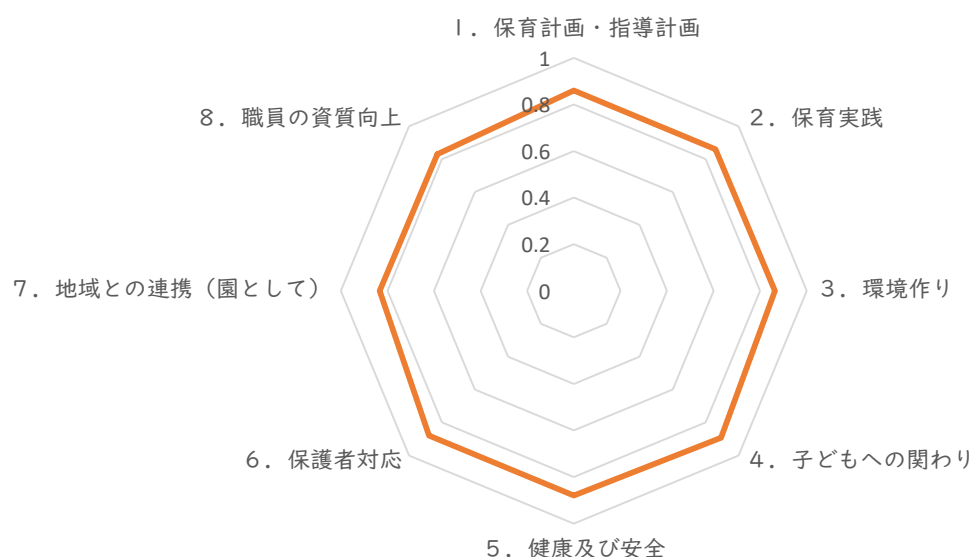


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。

片原一色保育園の自己評価



【総評】

- ・稲沢市が目指す「子どもを尊重する保育」を意識して育児担当制保育や主体的な保育を実践しました。また、インクルーシブ保育を行うなかで、近隣にある「子育て相談室なのはな」と連携をとりながら職員間で学びあいの機会を設け、保育の振り返りを行いました。
- ・保護者対応では保育園での様子や子どもの育ちをアプリを使い配信しました。
- ・地域との連携では、散歩に出かけ近隣の方と触れ合ったり、清水小学校や児童クラブと公開授業や公開保育を実施し意見交換をしました。



食事の様子(育児担当制保育)



みかん狩り(地域とのつながり)



お祭りごっこ(主体的保育)

【今後の課題】

- ・小学校や児童クラブとの連携を深め、子どもの発達の段階を見据えた架け橋期の充実を図り共通理解を図っていきます。
- ・保育計画については状況・評価・反省だけにとどまらず改善に向けたものにしていくとともに、職員は積極的に研修などに参加し、自己研鑽に努めていきます。